

群建協

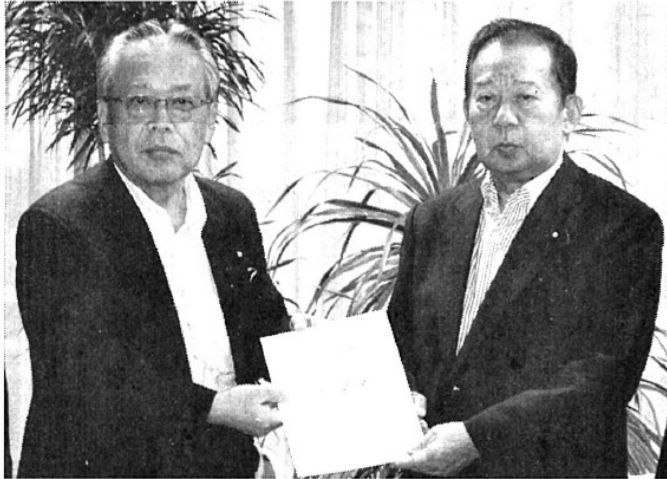
「補正の早期編成を」

二階氏と稲田氏へ要望

地方から声を出す。群馬県建設業協会の青柳剛会長は20日、自由民主党本部を訪れ、自民党総務会長で国土強靱化総合調査会長の二階俊博衆議院議員、政務調査会長の稲田朋美衆議院議員に補正予算の早期編成などを要望した。県協会単位で総務会長や政調会長に直接要望を提出するのは初めて。

青柳会長は会員企業の工事受注が減少しており、また今後も受注が減る見通しである現状を説明し「除雪や台風、集中豪雨などの自然災害の応急対応の責務を負っている地方の建設業者の経営が一層厳しくなる」と訴えた。

当初予算が微増の中、補正予算が減ると地方業者の受注量を直撃すると



二階総務会長④に要望書を手渡す青柳会長

し①補正予算の早期編成、②「地方創生」「国土強靱化」を踏まえた平成28年度公共工事当初予算の増額、③地域において「国土強靱化」を担う建設業者の経営再建の支援の3点を要望した。青柳会長は二階氏、稲田氏とも要望の内容には理解を示してくれたと手心えを感じ、続けて「工事量は地域によってまだら模様。同じような課題を抱えている地域がみんな声を出していけばいい」と話した。